

連携協議会の取組状況

令和6年2月21日

北海道サイクルルート連携協議会

連携協議会の取組状況

No	推進方針 実施内容	取組内容	現在の取組内容（R5）	今後の取組検討状況 （R6予定）	実施主体	頁
1	統一基準 の整備	案内看板・路面表示 （矢羽根）仕様基準	R4以前に作成した案内看板・路面表示（矢羽根）等仕様基準を 運用中	各ルートの状況に応じて 更新を検討	北海道開発局	3
		基幹ルート統一マップ作成 マニュアル	R4以前に作成した基幹ルートの統一マップ作成マニュアルを運用中	各ルートの状況に応じて 更新を検討	北海道開発局	3
2	情報提供	P R 冊子の作成・配布	サイクル冊子発行・連絡会HPで開示。 CYCLE MODE RIDE OSAKA2024出展・PR	現在検討中	北海道商工会議 所連合会	4
		WEBサイト等での情報発信	HPでの各ルートやサイクルルート北海道フォトコンテスト2023の情報 提供。さっぽろサイクルラボでガイドサイクリングの情報提供	継続予定	S B W 支援 センター	4
			Instagram・Facebook・X（旧Twitter）の公式アカウントによる定期的 な情報発信	継続予定	北海道	5
			既存サイクルツアー等コンテンツ紹介のための多言語化。地域のポータル サイトと連動	継続予定	北海道運輸局	5
		サイクルルート北海道フォ トコンテスト2023	サイクルルート北海道フォトコンテスト2023開催。受賞作品を活用し たポスターを作成	継続予定	北海道開発局	6
会議における情報発信	日本道路会議・自転車利用環境向上会議でPR	今後も参加しPR予定	北海道開発局	6		
3	サイクル ツーリズムのブラン ド力確 立・向上	海外へのPR	繁体字版のサイクル冊子を作成し、台北イベントで冊子配布・PR	未定	北海道商工会議 所連合会	7
		海外プロモーションなどによ る誘致	R5.9、A T W S in 北海道 D O A 2 本実施	R6米国シーニックバイウエ イで北海道のサイクルツー リズムをP R ・意見交換 実施予定	S B W 支援 センター	7
		ガイドツアーの催行支援	A T W S 2 0 2 3 エクスカーションにてツアー支援	ガイドツアーの更なる商品 造成・海外プロモーション	北海道・北海道 観光振興機構	8
4	企業連携	知床半島サイクリングの 試行	JR釧網線を一部利用した知床半島一周サイクリングし、立ち寄りスポッ トメニューの磨き上げを実施	イベント・観光コンテンツ 造成にむけた検討を継続。 JR釧網線・路線バス等の 活用も検討	S B W 支援 センター	9
		ひがし北海道エコモビリ ティの推進	釧路空港から納沙布岬までサイクリングやカヌーと公共交通を組み合わせ たエコモビリティツアーの試行	観光コンテンツ、旅行プラン 造成にむけた検討を継続	S B W 支援 センター	9
		サイクリング周遊拠点の 整備	民間施設と連携して、石狩川流域圏ルートを対象とした拠点整備・ガイ ドサイクリングを実施	継続予定	S B W 支援 センター	10
		シーニックルートとの連携	T E P P E N - R I D E 2 0 2 3 と連携した事業を実施	継続予定	S B W 支援 センター	10
		企業との連携	第6回 ソーシャル×散走企画コンテストへの北海道内大学への参加案内 と企画立案のサポートに協力	継続予定	S B W 支援 センター	11
		公共交通機関自転車持込み	サイクルトレインモニターツアーの実施	サイクルトレインの実用化 に向けた取組の検討	北海道	11

連携協議会の取組状況

No	推進方針 実施内容	取組内容	現在の取組内容（R5）	今後の取組検討状況（R6 予定）	実施主体	頁
4	企業連携	官民連携の推進（PRイベントの実施）	民間施設でのPRイベントを実施（自転車相談コーナー・試乗体験・ヘルメット着用啓発等）	継続して連携予定	北海道	12
		官民連携の推進（自転車活用等促進事業の一環）	保険事業者等とのイベント開催やコラボチラシ作成等を実施	継続予定	北海道	12
		その他地域観光団体との連携	地域主体モニターツアー等の実施に向けた支援	継続予定	北海道・北海道観光振興機構	13
		コンテンツ造成	北見エリアでのサイクルトレイラーツアー、七飯・大沼エリアでの観光資源サイクルツアー等既事業継続。ニセコエリアの電動MTBツアー、オホーツクエリアでの流氷ファットバイクツアー等を造成	観光庁の補助金事業を活用し、継続実施予定	北海道運輸局	13
		セコマグループとの連携	R5年度セイコーマート152店舗にサイクルラックを設置。ルート沿線店舗へはサイクルマップを設置	今後も実施予定。新たに登録されたサイクルルートも含めて連携を推進	北海道開発局	14
5	ベンチマーク収集	レンタサイクル利用台数の把握	札幌市北口ゲストハウス「Ten to Ten」で、レンタサイクル事業を実施し、利用台数を把握	継続予定	SBW支援センター	15
		レンタサイクル利用者数・交通量調査とりまとめ	各ルートのレンタサイクル利用者数・交通量調査等を取りまとめ	継続予定	北海道開発局	16
6	その他	官民の意見交換等実施	R5.7：第19回連絡会開催し情報交換実施	現在検討中	北海道商工会議所連合会	17
		反射バンドの配布	長大トンネルで蛍光反射バンド300帯を無料配布	継続予定	SBW支援センター	17
		自転車映画上映会の開催	自転車日本縦断ロードムービーの上映会を開催	必要に応じて再上映も検討	SBW支援センター	18
		サイクリング周遊拠点の整備	サイクルオアシスマップを作成・配布	イベント等においてサイクリング周遊拠点の普及啓発	北海道	18
		道路管理者同士の連携	各関係機関と連携し走行環境整備を実施	継続予定	北海道	19
		市町村への情報提供	市町村の自転車活用推進計画の策定促進に向けた情報提供・説明会を実施	継続予定	北海道	19
		各ルート整備状況の進捗整理	R6年度アクションプランにて進捗状況整理	継続予定	北海道開発局	20
		現地視察・意見交換会	オホーツクサイクリングルートにおいて開催	継続予定	北海道開発局	20
		サイクルカフェ	飲食・ラックがある施設をサイクルカフェと位置づけ試行実施	継続して試行実施予定	北海道開発局	21
		ベスト・サイクリングプロジェクト	他の模範となるサイクルルート連携協議会活動の積極的な創出や啓発・普及を目的として試行	継続予定	北海道開発局	21
サイクルツーリズム推進フォーラム	R5.7.21サイクルツーリズム推進フォーラム開催	状況に応じて開催を検討	北海道開発局	22		

1. 統一基準の整備

北海道開発局

案内看板・路面表示（矢羽根）仕様基準

過年度 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 基幹ルートの案内サイン、路面表示矢羽根の標準仕様の作成。 地域ルートの案内サインの標準仕様の作成。
現在 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 各サイクルルートにおいて運用中。
今後の取組 検討状況	<ul style="list-style-type: none"> 各サイクルルートの状況に応じて更新を検討。

▼標準仕様

路面表示（矢羽根）

1. 矢羽根・自転車ピクトグラム・矢印の寸法と仕様

1. 路面表示（矢羽根）の寸法

2. 自転車ピクトグラムの寸法

3. 矢印の寸法



矢羽根



案内看板(左:基幹ルート・地域ルート重複区間、右:地域ルート)

地域ルートの案内

1. デザイン

1. 基幹ルートのサインデザイン

2. 地域ルートのサインデザイン

※地域ルートのサインデザインは、基幹ルート設置基準を踏襲し、統一線の色と正色に統一して設置し、視認性を高める。また、必要に応じて、地域独自の項目を追加する。

※地域ルートのサインデザインは、基幹ルート設置基準を踏襲し、統一線の色と正色に統一して設置し、視認性を高める。また、必要に応じて、地域独自の項目を追加する。

※地域ルートのサインは、基幹ルート設置基準を踏襲し、統一線の色と正色に統一して設置し、視認性を高める。また、必要に応じて、地域独自の項目を追加する。



北海道開発局

基幹ルート統一マップ作成マニュアル

過年度 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 基幹ルートの統一マップ作成マニュアルを作成・更新。
現在 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 各サイクルルートにおいて運用中。
今後の取組 検討状況	<ul style="list-style-type: none"> 各サイクルルートの状況に応じて更新を検討。

▼基幹ルート統一マップ作成マニュアル

北海道サイクルルート
基幹ルート統一マップ 作成マニュアル

令和3年
北海道サイクル

6. サイクリングマップの規格および具備すべきコンテンツ

10

多休施設等の位置・機能
各施設について施設名を表記、機能はアイコンで示す。

表示する施設についての留意事項

1. 休施設として株式会社セコマ「セコマグループ」店舗を掲載
北海道開発局と株式会社セコマ、株式会社セイコーフレッシュは、令和3年6月に生産空間の維持・発展に資する連携協力協定を締結しており、サイクルリストの休施設としての役割を担うため、休施設としてマップに掲載するものとする。

2. 連携協力認定（採択）
3. サイクルツーリズムの推進による地域活性化
北海道サイクルルート連携協議会（事務局：北海道開発局・北海道）の基幹ルート沿いのセコマ店舗をサイクルリストの休施設として案内するとともに、特に休施設が不足する地域のセコマ店舗へのサイクルラック設置を促す。

セコマグループ店舗	備考
セイコーマート	全道で展開
ハマナスクラブ	道央地方を中心に展開
ハセワフストア	道南地域のコンビニ
セイコー	道東地域のコンビニ

参考：マップへの記載例
「セイコーマート〇〇店」、「ハマナスクラブ〇〇店」など、それぞれ店舗名を記載することができる表記とする。
また、店舗のアイコン（表記イメージ：セイコーマート）を表示することとする。

※店舗が有する設備のアイコンを掲載

2. 情報提供①

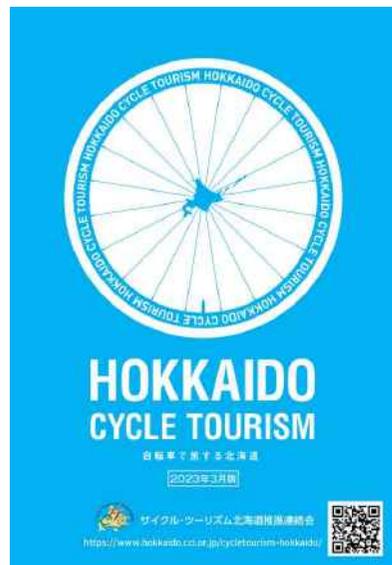
(一社)北海道商工会議所連合会

サイクル・ツーリズム北海道推進連絡会の運営による情報発信

【PR冊子の作成・配布】

過年度 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 2023年3月に冊子発行。 冊子は連絡会のHPでも開示。
現在 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 2024年3月に冊子発行、道内外へ配布。 冊子は連絡会のHPでも開示。 2024年3月開催の「CYCLE MODE RIDE OSAKA2024」に出展し、冊子配布等PR予定。 羊蹄ニセコエリアサイクルルート(エゾイチ)、トカプチ400等のルート情報を掲載。
今後の取組 検討状況	<ul style="list-style-type: none"> 現在検討中。

▼サイクル冊子



(一社)SBW支援センター

WEBサイト等での情報発信

(サイクルルート北海道HP更新作業継続)

過年度 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> サイクルルート北海道において、各ルートの情報提供を実施、継続。 さっぽろサイクルラボでガイドサイクリングの情報提供。
現在 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> サイクルルート北海道において、各ルートの情報提供を実施、継続。 サイクルルート北海道でサイクルルート北海道フォトコンテスト2023の情報提供を実施。 さっぽろサイクルラボでガイドサイクリングの情報提供。
今後の取組 検討状況	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続予定。



▲サイクルルート北海道HP

▲さっぽろサイクルラボ(ピクニックライド)HP

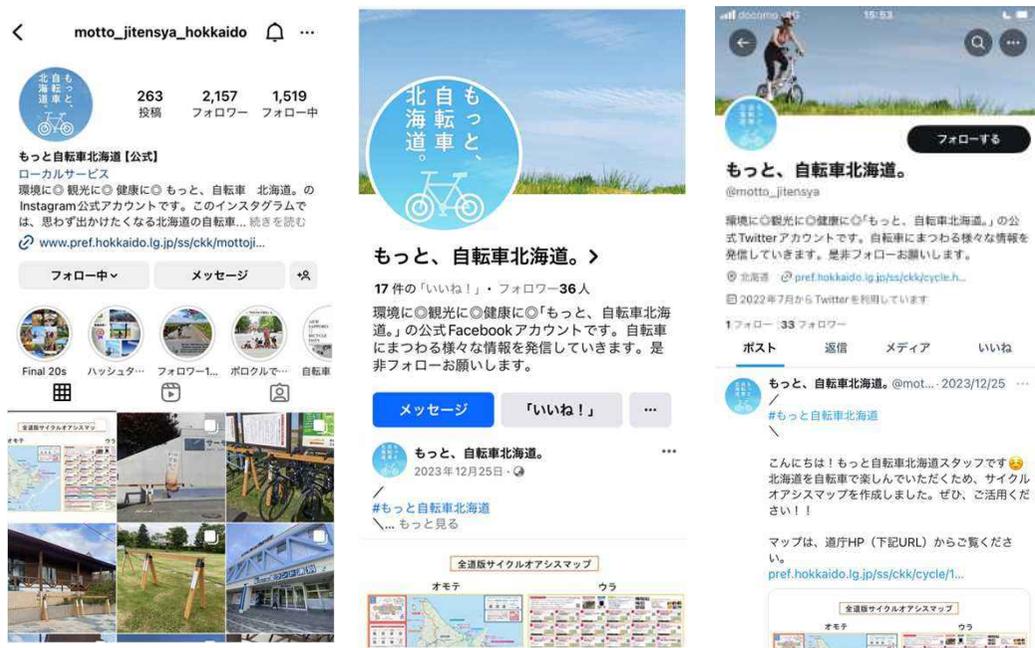
2. 情報提供②

北海道

WEBサイト等での情報発信 【自転車活用等促進事業の一環】

過年度 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> Instagram、Facebook及びX(旧Twitter)の「もっと、自転車北海道。」公式アカウントを開設し、幅広い層に対し、自転車の魅力を情報発信。
現在 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> Instagram、Facebook及びX(旧Twitter)の公式アカウントによる定期的な情報発信(利活用促進、イベント開催、サイクルオアシス紹介など)。
今後の取組 検討状況	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続予定。

※自転車活用等促進事業



▲SNSでの情報発信(左からInstagram、Facebook、X(旧Twitter))

北海道運輸局

WEBサイト等での情報発信

過年度 取組内容	—
現在 取組内容	<p>昨年度実施した以下の各コンテンツ造成事業において、今年度は情報発信に関する取組を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> 北見エリアおよび室蘭市で実施している事業において、作成したコンテンツ紹介のためのHPの多言語化を実施。 七飯大沼エリアで実施している事業において、作成したコンテンツをアプリから閲覧できるようにし、地域のポータルサイトと連動させる取組を実施。
今後の取組 検討状況	<ul style="list-style-type: none"> 観光庁の補助金事業を活用し、継続実施予定。



▲サイクルツアーを紹介するHPの多言語化

2. 情報提供③

北海道開発局

サイクルルート北海道フォトコンテスト2023

過年度 取組内容	-
現在 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> サイクルルート北海道フォトコンテスト2023開催 (Instagram)。 受賞作品を活用したポスターを作成。
今後の取組 検討状況	<ul style="list-style-type: none"> 今後も実施予定。

▼サイクルルート北海道フォトコンテスト2023のリーフレット



▼Instagramでの情報発信



北海道開発局

日本道路会議および 自転車利用環境向上会議における情報発信

過年度 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 第9回自転車利用環境向上会議におけるポスターセッション参加。
現在 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 第35回日本道路会議、第10回自転車利用環境向上会議におけるポスターセッション参加。
今後の取組 検討状況	<ul style="list-style-type: none"> 今後も参加予定。

▼展示したポスターおよび会場の様子



3. サイクルツーリズムのブランド力確立・向上①

(一社)北海道商工会議所連合会

サイクル・ツーリズム北海道推進連絡会の運営による情報発信

【海外へのPR】

過年度 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 繁体字版のサイクル冊子を作成し、2022年11月に台北で開催の「2022リブ ラヴァ クイーン タイペイ女子デュアスロン」(ランとバイクのデュアスロン大会)で札幌テレビ放送(株)の協力を得てサイクル冊子650冊を配布しPR。
現在 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 繁体字版のサイクル冊子を作成し、2023年11月に台北で開催の「2023台北国際旅行博(ITF2023)」で札幌テレビ放送(株)の協力を得てサイクル冊子700冊を配布しPR。 サイクル冊子には羊蹄ニセコエリアサイクルルート(エゾイチ)、トカプチ400等ルート情報を掲載。
今後の取組 検討状況	<ul style="list-style-type: none"> 未定。

▼冊子配布時の様子



(一社)SBW支援センター

海外プロモーションなどによる誘致

過年度 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 2022年9月に、シンガポールからの北海道へのサイクルツアーが実施され、主催したSCTと意見交換を行った。
現在 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 2023年9月に開催された「ATWSin北海道」において、札幌発着の日帰りツアー(DOA)として、サイクリングを中心としたツアーを2本実施した。 石狩川流域圏ルート、石狩北部・増毛サイクルルートの一部走行。
今後の取組 検討状況	<ul style="list-style-type: none"> 2024年度の「米国シーニックバイウェイ」の開催において、北海道のサイクルツーリズムについてPRを行い、観光誘致や相互交流についての意見交換を行う予定。

★札幌市街地を起点に、石狩市へ向かうコースと南区定山溪エリアへ向かうコースの2種類。いずれも歴史文化や土地柄などの施設へ立ち寄り、体験しながら楽しむツアー内容とした。



▲ツアーの様子：登山やフットバスなど、他のアクティビティとサイクリングを組み合わせたアドベンチャーツアー。ジンギスカンや石狩鍋などのご当地食も喜ばれた。

3. サイクルツーリズムのブランド力確立・向上②

北海道・北海道観光振興機構

ガイドツアーの催行支援（観光振興機構）

過年度 取組内容	<ul style="list-style-type: none">ATWSに向けて実施するサイクリングツアーの磨き上げのためのテストツアーを開催。
今年度 取組内容 (ATWS実施)	<ul style="list-style-type: none">ATWS2023公式エクスカージョンにてツアー催行支援。 PSA※1 全15コース中、サイクリング8コース(71名参加) DOA※2 全31コース中、サイクリング10コース(170参加)石狩川流域圏ルート、石狩北部・増毛サイクルルートの一部走行。 ※1: PSA: Pre Summit Adventure ※2: DOA: Day of Adventure
今後の取組 検討状況	<ul style="list-style-type: none">ガイドツアーの更なる商品造成および海外プロモーション。

▼ATWS2023におけるツアー催行の様子（写真出典: ATTA）※ATWS北海道実行委員会



PSA5 洞爺から日本海へ



PSA8 日本の最北の地を目指して



PSA12 富良野岳と鶴川源流



DOA20 豊平川サイクリング

4. 企業連携①

(一社)SBW支援センター

知床半島サイクリングの試行

過年度 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 道の駅うとろ・シリエトクをスタート・ゴール地点とし、サイクリングで知床半島を一周する試行を実施。
現在 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通との連携として、JR釧網線の一部利用した知床半島一周サイクリング(モニター調査)を実施。(事務担当) 裏摩周展望台や開陽台展望台、ポー川史跡自然公園等、周辺の観光スポット等の立ち寄りを行い、メニューの磨き上げを行った。
今後の取組 検討状況	<ul style="list-style-type: none"> イベントや観光コンテンツ造成にむけた検討を継続。 JR釧網線の他、路線バス等の活用も検討。

▼モニターツアーの様子



▼JR釧網線での輸行(知床斜里駅)



(一社)SBW支援センター

鉄道と路線バスを活用した ひがし北海道エコモビリティの推進

過年度 取組内容	—
現在 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 釧路空港から納沙布岬まで自動車による移動を使わず、サイクリングやカヌー等人力による移動(アクティビティ)と公共交通を組み合わせた、エコモビリティツアーの試行。 実行委員会の参画、補助金管理を実施。
今後の取組 検討状況	<ul style="list-style-type: none"> 観光コンテンツ、旅行プラン造成にむけた検討を継続。

▼モニターツアーの様子



▼JR花咲線での輸行(釧路駅)



4. 企業連携②

(一社)SBW支援センター

サイクリング周遊拠点の整備

過年度 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 札幌駅北口でゲストハウス「Ten to Ten」と連携して、石狩川流域圏ルート(調整中)を対象とした拠点整備を実施。 「Ten to Ten」の拠点整備を継続。 ガイドサイクリングの実施。 着替え、シャワー利用サービスを開始(COVID-19対応のため休止中)。
現在 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 札幌駅北口でゲストハウス「Ten to Ten」と連携して、石狩川流域圏ルートを対象とした拠点整備を実施。 「Ten to Ten」の拠点整備を継続。 ガイドサイクリングの実施(ピクニックライド札幌街中ツアー、定山溪ツアー、石狩散走等)。
今後の取組 検討状況	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続を予定。



▲Ten to Tenを起終点として
香港からの家族連れを
ガイドサイクリング (in 札幌街中)



▲Ten to Tenから現地へ自転車
を運ぶためのトラックへ積み込み

(一社)SBW支援センター

シーニックルートとの連携

過年度 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 2022年9月18日(日)~21日(水)にて「とんがりロードライド2022」を、北海道サイクリング協会と連携して開催。 2022年9月22日(木)~25日(日)の「TEPPEN-RIDE 2022」と接続し、『北海道縦断』サイクリングイベントとして連携事業を実施。
現在 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 2023年9月21日(木)~24日(日)の「TEPPEN-RIDE 2023」と連携した事業を実施。 TEPPEN-RIDE2023では一部きた北海道ルートを走行。
今後の取組 検討状況	<ul style="list-style-type: none"> 2024年度の開催においても「TEPPEN-RIDE」との連携事業は継続予定。

★TEPPEN-RIDEは、2022年度までは天塩川シーニックと宗谷シーニックが主催、2023年度には、旭川市や比布町、天塩町などを含めた、より広域的な連携強化による「きた北海道サイクルツーリズム連絡会議」が主催となり、両シーニックと支援センターは共催として開催。



▲シーニックカフェにて休憩し、参加者にも
シーニックについて、より深く知ってもらう



▲休憩や宿泊地となる地域毎に、各市町村
長がお出迎えしてくれる。



4. 企業連携③

(一社)SBW支援センター

企業との連携

過年度 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ (株)シマノ主催の、大学生を対象とした第5回「ソーシャル×散走」企画コンテストへの北海道内大学への参加案内と企画立案のサポートに協力。その結果、全国から参加40チームの中で、北海道科学大学が大賞、函館大学が特別賞を受賞。
現在 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ (株)シマノ主催の、大学生を対象とした第6回「ソーシャル×散走」企画コンテストへの北海道内大学への参加案内と企画立案のサポートに協力。全国から17チームが参加。北海道科学大が『散走賞』を受賞。
今後の取組 検討状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次年度も継続して実施予定。

▼「ソーシャル×散走」企画コンテストの発表資料



▲北海道科学大学(散走賞)
「眠るまちおこし-まちに眠る未来-」



▲藤女子大学が石狩市をフィールドに企画した散走の試走サポート
▲藤女子大学「My color found in Atsuta ~厚田でみつける私の色~」(一部石狩川流域圏ルート・石狩北部増毛サイクリングルートを走行)

北海道

鉄道やバス等の公共交通機関への自転車の持ち込み

過年度 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ H100形ラッピング車両によるサイクルトレインモニターツアーの実施(JR釧網線)。 ・ 主催:JR釧網本線維持活性化実行委員会(事務局:釧路市)。
現在 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ H100形ラッピング車両によるサイクルトレインモニターツアーの実施(JR釧網線・JR花咲線)。 ・ 主催:北海道釧路総合振興局。
今後の取組 検討状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ サイクルトレインの実用化に向けた取組の検討。

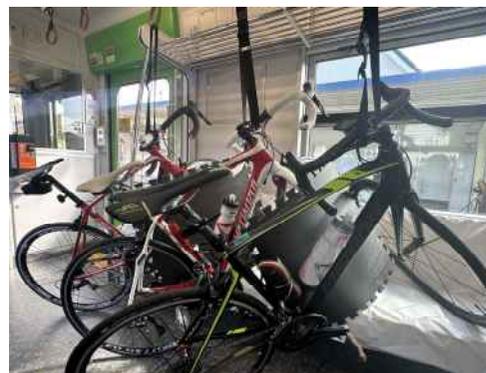
▼モニターツアーの様子



ラッピング車両(釧網線)



ラッピング車両(花咲線)



積み込み状況



サイクリングツアー

4. 企業連携④

北海道

官民連携の推進【PRイベントの実施】

過年度 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> PRイベント(14振興局管内)において、自転車の相談コーナーや試乗体験など、連携した取組を実施。
現在 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> PRイベントにおいて、自転車の相談コーナーや試乗体験のほか、ヘルメット着用啓発及び自転車保険加入啓発など、連携した取組を継続して実施。 実施日: R5.8.19(土)~8.20(日) 会場: アクセスサッポロ 来場者: 5,000名以上(2日間合計)
今後の取組 検討状況	<ul style="list-style-type: none"> 来年度のイベントでも継続して連携予定。

※自転車活用等促進事業(地域政策課)

▼PRイベントの様子



試乗体験



キッズバイク試乗体験



ヘルメット着用啓発



自転車シミュレーター体験

北海道

官民連携の推進【自転車活用等促進事業の一環】

過年度 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 北海道自転車活用等推進連携会議の開催。 各ルート協議会や交通事業者等とのWEB意見交換会の開催。 保険事業者等の民間事業者と連携したチカホイベントの開催。 保険加入促進のコラボチラシの作成など、保険事業者等と連携した取組の調整。 販売店舗やシェアサイクル事業者等と連携したヘルメット着用推進の取組の調整。 市町村はもとより、道内企業や団体を対象とした「もっと、自転車北海道。」サポーターの募集。 GCFの実施に当たり、関係団体・企業等と連携した募集内容やサイクルオアシス整備箇所の検討。 新聞広告を活用した自転車通勤に係る自治体や民間企業の取組事例の紹介。
現在 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 保険事業者や「もっと、自転車北海道」サポーター等の民間事業者と連携したイベントの開催。 保険事業者との連携による保険加入促進に向けたコラボチラシの作成。 市町村や道内企業・団体を対象とした「もっと、自転車北海道。」サポーターの募集。
今後の取組 検討状況	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続して実施予定。

▼イベント開催の様子

※自転車活用等促進事業(地域政策課)



札幌Sunpiazaでの啓発イベント(5/19~21)



道庁1階パネル展(5/8~9)

4. 企業連携⑤

北海道・北海道観光振興機構

その他地域観光団体との連携（観光振興機構）

過年度 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 地域が主体となり行うモニターツアー開催やイベント実施等の取組に向けた支援を実施。
現在 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 地域が主体となり行うモニターツアー開催やイベント実施等の取組に向けた支援を実施。
今後の取組 検討状況	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続して実施予定。

※地域の魅力を活かした観光地づくり推進事業
広域観光周遊促進事業

▼イベント開催の様子



羊蹄ニセコサイクルエリアの魅力アップ事業

北海道運輸局

コンテンツ造成

過年度 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 北見エリアにおいて、サイクルトレーラー付き車両で自転車を運び、走りやすい場所でサイクリングをする「いいとこどりツアー」を造成(オホーツクルート協議会で取組支援)。 室蘭市において、観光バスが通れない狭い道を、マップを使用して電動アシスト自転車で巡りながら、地元住民と交流するツアーを造成。 七飯・大沼エリアにおいて、地域の観光資源を巡るサイクルツアーや、ファットバイクを使用した氷上サイクルツアーを造成。
現在 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 上記事業のブラッシュアップ。 ニセコエリアの夏期コンテンツとして、電動マウンテンバイクツアーを造成。 新ひだか町の基幹産業(三菱シコンブ・サラブレッド・農漁業)とサイクリングを組み合わせたツアーを造成。 オホーツクエリアにおいて、流氷ファットバイクツアーや、ファットバイクで農家などを巡り、地元の食材を入手しバーベキューを行うツアーを造成(オホーツクルート協議会で取組支援)。
今後の取組 検討状況	<ul style="list-style-type: none"> 観光庁の補助金事業を活用し、継続実施予定。



▲ファットバイクツアーの様子

4. 企業連携⑥

北海道開発局

セコマグループとの連携した取組

過年度 取組内容	<ul style="list-style-type: none">各ルートにおける休憩施設空白地帯とコンビニの位置関係について調査。R3.6.21セコマと連携協力協定を締結。協定に基づき、セイコーマート店舗7店舗へのサイクルラックの設置を試行。R4年度はセイコーマート151店舗にサイクルラックを設置。
現在 取組内容	<ul style="list-style-type: none">R5年度はセイコーマート152店舗(うち、ルート沿線店舗は124店舗)にサイクルラックを設置。合わせて、ルート沿線店舗へはサイクルマップを設置。
今後の取組 検討状況	<ul style="list-style-type: none">今後も実施予定。新たに登録されたサイクルルートも含めて連携を推進。

▼設置されたサイクルラック



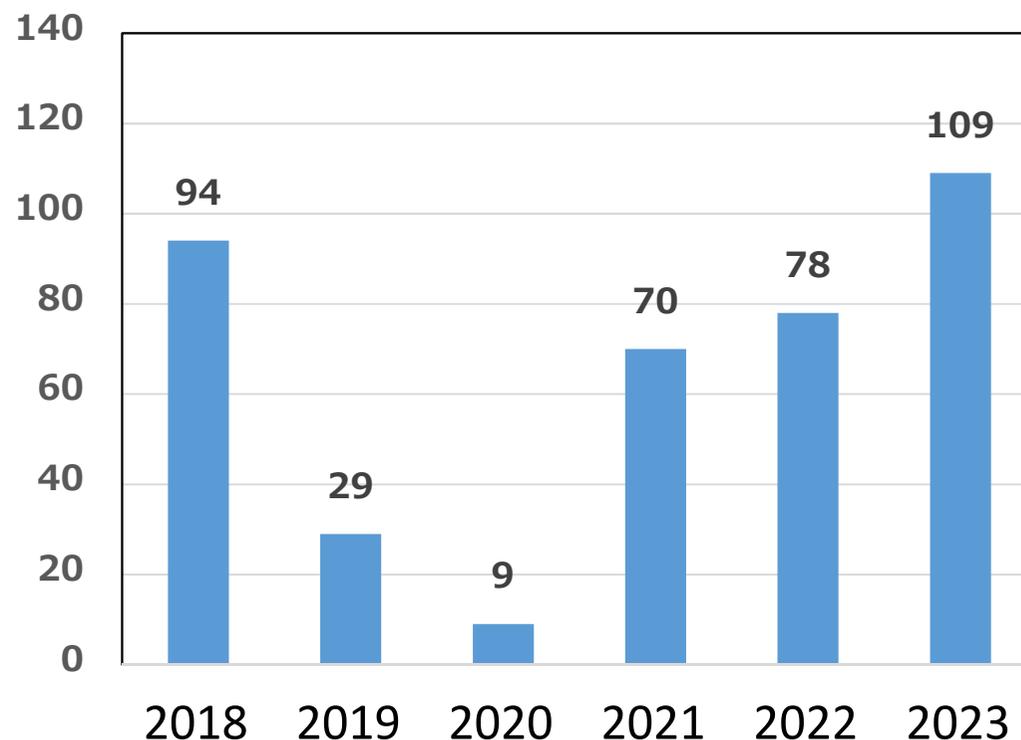
5. ベンチマーク収集①

(一社)SBW支援センター

レンタサイクル事業

過年度 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 札幌市北口ゲストハウス「Ten to Ten」と連携し、支援センターでレンタサイクル事業を実施(個別貸し出しは休止中) 電動アシスト自転車のレンタル開始。 マウンテンバイクなど、オフロードバイクのレンタル開始。 北広島市、豊頃町、鶴居村でレンタサイクル事業に協力。
現在 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 札幌市北口ゲストハウス「Ten to Ten」で、レンタサイクル事業について、15のツアー、試走、走行会等で計109台を貸出。 過年度からの取り組みを継続中。
今後の取組 検討状況	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続を予定。

シーニックバイウェイ支援センターのレンタ サイクル貸し出し数 (2018~2023年度)



▲電動アシストMTBのレンタルによる
ツインピークスMTBモニターツアーの
実施(in 倶知安町)

▲電動アシスト自転車のレンタルに
よる散走の実施(in 石狩市)

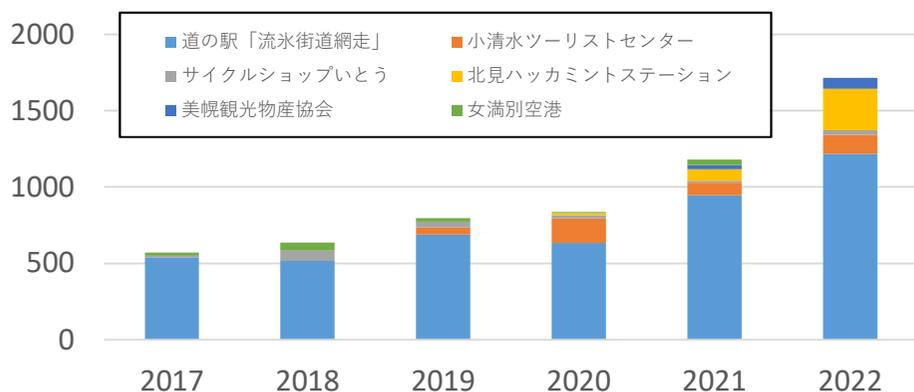
5. ベンチマーク収集②

北海道開発局

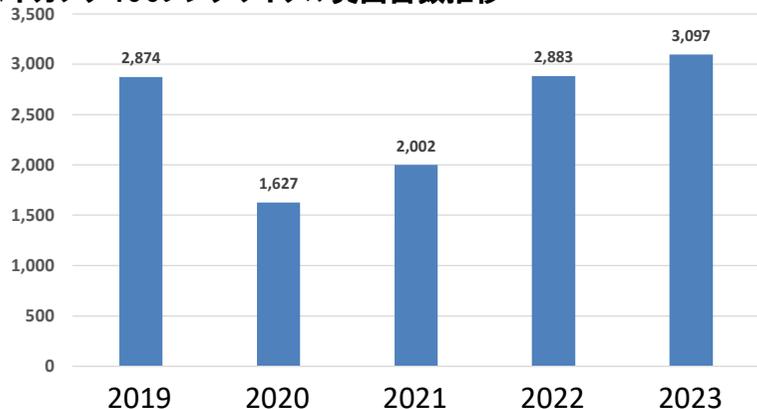
レンタサイクル利用者数・交通量調査とりまとめ

過年度 取組内容	-
現在 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 各ルートでのレンタサイクル利用者数・交通量調査等と とりまとめ。
今後の取組 検討状況	<ul style="list-style-type: none"> 各ルートでのレンタサイクル利用者数・交通量調査等と とりまとめを継続予定。

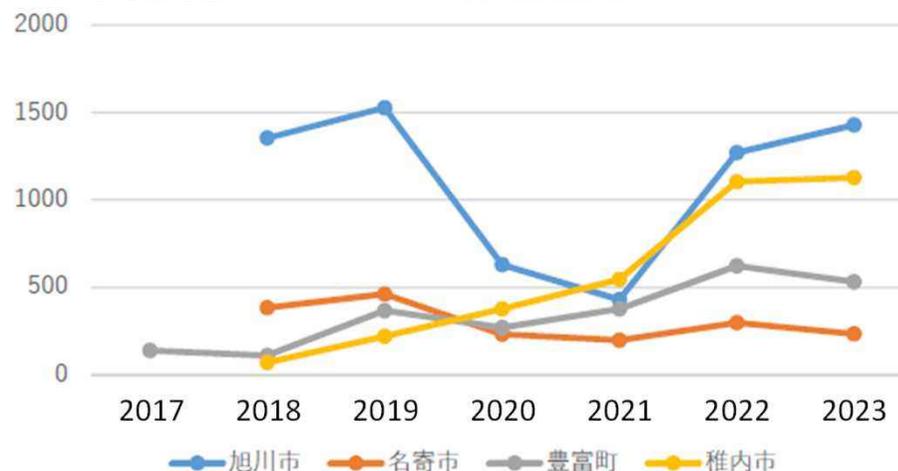
▼オホーツクサイクリングルートレンタサイクル貸出数推移



▼トカプチ400レンタサイクル貸出数推移

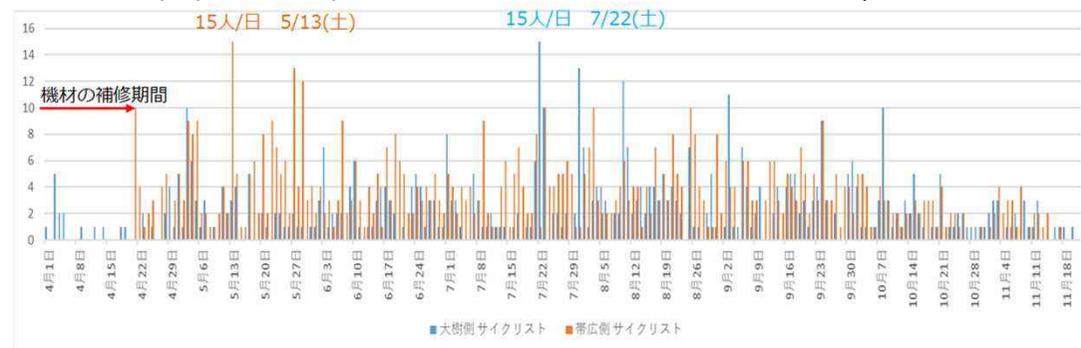


▼きた北海道ルートレンタサイクル貸出数推移



▼トカプチ400 2023年度自転車交通量観測用センサー集計結果

2023/4/21～11/21までのサイクリストの総数は1,362人



計測機器の設置



実走による感度の確認

6. その他①

(一社)北海道商工会議所連合会

サイクル・ツーリズム北海道推進連絡会の運営による情報発信

【連絡会の開催による官民の意見交換等実施】

過年度 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 今年度は2023年7月に第19回となる連絡会を開催し情報交換を実施。
現在 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 来年度2024年7月の第20回連絡会開催(予定)に向け準備中。情報交換を予定。
今後の取組 検討状況	<ul style="list-style-type: none"> 現在検討中。

▼意見交換会の様子



(一社)SBW支援センター

反射バンドの配布

過年度 取組内容	過年度は取り組んでいない。
現在 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 石狩北部・増毛サイクルルートにある雄冬～増毛の長大トンネルで、対自転車利用者の安全対策として蛍光反射バンドを300帯を砂箱を活用し無料配布。
今後の取組 検討状況	<ul style="list-style-type: none"> 継続予定。

▼配布箇所と長大トンネルの関係

◀砂箱に掲示したポスター

6. その他③

北海道

管理者同士の連携

※道路課

過年度 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 開発局や関係機関と連携した取り組みを実施。 詳細は、各建設管理部において調整。
現在 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 開発局や関係機関と連携した取り組みを継続。 詳細は、各建設管理部において調整。
今後の取組 検討状況	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続予定。

走行環境整備状況

ルート名	取組内容
トカプチ400	案内標示の設置
石狩北部・増毛サイクリングルート	案内標示、案内標示(シール)、矢羽根型路面表示の設置
石狩川流域圏ルート	北広島工区:市道北進通沿線の用地買収の実施 恵庭工区:道道江別恵庭線～道の駅(道と川の駅花ロードえにわ)までのルート決定を調整 2.6 恵庭市自転車活用推進協議会にて決定

トカプチ400



石狩川流域圏ルート

石狩北部・増毛サイクリングルート



市町村への情報提供

過年度 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 市町村の自転車活用推進計画の策定に向けた情報提供や説明会を実施。
現在 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 市町村の自転車活用推進計画の策定に向けた情報提供や説明会を実施。
今後の取組 検討状況	<ul style="list-style-type: none"> 今後も継続予定。

地方版自転車活用推進計画

第2期 北海道自転車利用推進計画

誰もが安全・快適で楽しく自転車を利用できる
環境に◎観光に◎健康に◎もって、自転車◎北海道。

令和3年(2021年)3月
北海道

第2期北海道自転車利用推進計画 概要版

誰もが安全・快適で楽しく自転車を利用できる『環境に◎観光に◎健康に◎もって、自転車◎北海道。』

はじめに

- 1 策定経緯
 - 社会環境の変化に伴い、自転車の果たす役割は、環境負荷の低減や健康増進、観光振興、災害時の活用など、大きく広がってきている。
 - 国においても、平成29年5月に「自転車活用推進法」を施行し、さらに平成30年6月には「自転車活用推進計画」を策定し、自転車の幅広い活用の促進に向けた取組を進めている。
 - 道では、自転車の活用及び安全な利用の促進に関する施策を総合的に推進するため、平成30年4月に「北海道自転車条例」を施行し、平成31年3月に「北海道自転車活用推進計画」を策定。
 - 今後の社会情勢の変化による自転車の果たす役割が高まりを踏まえ、「北海道自転車条例」が掲げる理念の実現に向け、自転車の活用及び安全な利用に関するさらなるステップアップを図るため、幅広い分野にわたる自転車関連施策を一括的に推進。
- 2 推進期間

策定時から2025年度まで(国の自転車活用推進計画高野案に準ずる)
- 3 本計画の位置づけ

「自転車活用推進法」第19条の規定に基づき、都府県版自転車活用推進計画として策定

1 自転車を走り易くする現状と課題

道内のサイクリングルート



R5予算概要より抜粋 道路事業における社会資本整備総合交付金 防災・安全交付金の重点配分の概要

- ⇒ピロニアータを活用した生活道路対策に対して特に重点的に配分
- 未就学児が日常的に集団で移動する経路における交通安全対策
- 鉄道との結節点における歩行空間のユニバーサルデザイン化
- 地方版自転車活用推進計画に基づく自転車通行空間整備
- ⇒ナショナルサイクリングルートにおける自転車通行空間整備に対して特に重点的に配分



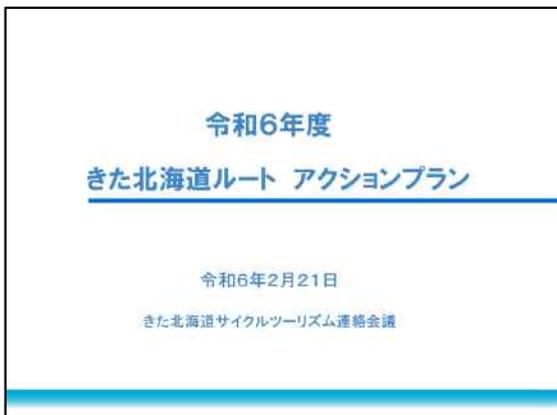
6. その他④

北海道開発局

走行環境整備状況の進捗整理

過年度 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 申請ルートの情報調査。 ルート情報のとりまとめ。 アクションプランの整理。
現在 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> R6年度アクションプランにて進捗状況を管理。
今後の取組 検討状況	<ul style="list-style-type: none"> 今後も実施予定。

▼各ルートのアクションプラン



項目	内容	進捗状況	進捗率	
			現状	取組完了
① ルート案内	ルート案内の作成・更新	1	23%	31%
② 走行環境の整備	走行環境の整備	8	75%	86%
	走行環境の整備	8	67%	74%
③ 情報発信	情報発信	8	81%	86%
	情報発信	8	81%	86%
④ 自転車検定	自転車検定	8	81%	86%
	自転車検定	8	81%	86%

※進捗率は、R6年度に整備の進捗率を100%として算出している。

北海道開発局

現地視察および意見交換会の実施

過年度 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 2022年は石狩北部増毛サイクルルートでの現地視察および意見交換を開催。
現在 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 2023年はオホーツクサイクリングルートでの現地視察会を開催。 ルート案内や路面表示等の走行環境、休憩施設等の受入環境、情報発信の取組等について現地確認し、意見交換を実施。
今後の取組 検討状況	<ul style="list-style-type: none"> 継続してサイクルルートでの現地視察の実施を予定。

▼現地視察および意見交換会の様子



【受入】ハッカミントエクスプレスへの自転車積込 【情報】マップ等の確認



【走行】案内看板の確認

意見交換会

6. その他⑤

北海道開発局

サイクルカフェ

過年度 取組内容	-
現在 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 「飲食・トイレ」を提供し「サイクルラック」が設置されている施設を「サイクルカフェ」と位置づけ試行実施。サイクルルートの魅力向上とサイクリストの利便性向上、サイクリスト誘客による地域の活性化を目指す。
今後の取組 検討状況	<ul style="list-style-type: none"> 継続して試行実施予定。

▼サイクルカフェの概要



▼試行の様子



北海道開発局

ベスト・サイクリングプロジェクト2023

過年度 取組内容	-
現在 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 北海道におけるサイクルツーリズム推進に向けて、他の模範となるサイクルルート協議会活動の積極的な創出や啓発・普及を目的とし試行。
今後の取組 検討状況	<ul style="list-style-type: none"> 今後も実施予定。

▼ベスト・サイクリングプロジェクトの概要

- 各サイクルルート協議会で行っているプロジェクト・取組を表彰し、活動のモチベーション維持・向上を目指します。
- また、他ルートの優良な取組を参考にしてもらうことで、道内への水平展開やルート同士の積極的な連携を促します。
- 初めての試みであり、各ルートの「頑張り」をアピールする機会としての側面もあります。エントリーの内容が多岐に渡っておりますが、今後応募されるプロジェクトの精度向上のため、まずは“試行的”に進めさせて頂ければと考えております。

■応募～表彰までの流れ



6. その他⑥

北海道開発局

第2回北海道のサイクルツーリズム推進フォーラム

過年度 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 2018年に「北海道のサイクルツーリズム推進フォーラム」を開催。
現在 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 2023年7月21日(金)に第2回北海道のサイクルツーリズム推進フォーラム開催。 サイクルツーリズムについて、高橋会長による基調講演や登壇者とのパネルディスカッションを実施。
今後の取組 検討状況	<ul style="list-style-type: none"> 状況に応じて開催を検討。

▼開催概要

▼開催状況



プログラム

基調講演
「確石が築きあげた北海道のサイクルツーリズムの歴史と未来」
高橋 清氏
北道工業大学 地域未来デザイン工学科 教授
北海道サイクルルート推進協議会
アドバイザー会長 会長

パネルディスカッション
ターゲットを明確にしたサイクルツーリズムのあり方について
コーディネーター 高橋 清氏
アドバイザー 萩原 亨氏
北海道大学工学部研究員教授
北海道サイクルルート推進協議会
アドバイザー 会長

パネリスト
坂本 大輔氏
一般社団法人しまなみジャパン
理事・専務役員
高橋 清氏
特定非営利活動法人
花サイクルクラブ
副理事長
室谷 恵美氏
一般社団法人数寄ネットワーク
理事・専務役員
柴田 靖氏
北海道警察本部 交通部 管理官
坂 義浩氏
国土交通省北海道開発局
建設部 建設計画課長

入場無料
7月19日(水)申込締切
定員150名

札幌パークホテル
札幌市中央区南一条西3丁目1番4号
札幌市地下鉄東区線(幸町線)1駅南口から
徒歩約10分(徒歩)より徒歩で
※「札幌」からタクシー乗降15分

登壇者のご紹介、参加申込方法は裏面へ

※詳細は参考資料として後述

推進方針改定について

令和6年2月21日

北海道サイクルルート連携協議会

北海道のサイクルツーリズム推進方針の改定について

■現在の「北海道のサイクルツーリズム推進方針」

- 北海道の観光資源を活かしながら、統一的なコンセプトのもとサイクルツーリズムの振興による広域的な周遊観光等の振興の実現を目指すため、地域の関係者が連携し、市町村をまたぐような骨格となるサイクルルートの整備を進める。

■これまでの取り組み

- 市町村をまたぐ骨格となる長距離のサイクルルート「基幹ルート」を主として、セルフガイドで走行できる環境整備を進めており、基幹ルートにおいては一定の整備が進んでいる。

■見直しの必要性

- 推進方針を策定した令和元年以降、コロナ禍における生活様式・交通行動の変容や自転車に係る上位計画等の見直し、サイクルツーリズムの更なる発展に向けた多様なサイクリストの受け入れや地域の特性に合わせた柔軟な運用が求められている。

見直しの視点1

- 社会情勢の変化や上位計画等の見直しへの対応

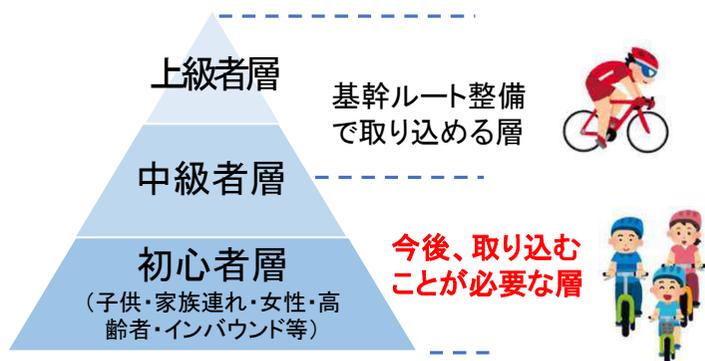
- 密を避けるアクティビティとして利用人口の増加や、健康志向など、自転車を取り巻く環境が変化。
- 上位計画の見直し(自転車活用推進計画の見直し(R3.5)や、第9期北海道総合計画の検討(R6年度内閣議決定予定))が進められている。
- これらを踏まえた見直しが必要。

- 〔例〕
- コロナ禍で増加した自転車ニーズへの対応
 - 観光消費額増加のための滞在型観光に導く視点
 - 高付加価値旅行者誘客の視点

見直しの視点2

- サイクルツーリズムの裾野を広げるため多様なサイクリストへの対応
- 持続可能な取組を行っていくため地域の特性に合わせた柔軟な対応

- サイクルツーリズムのさらなる発展のため、裾野を広げたターゲットへの対応が必要。



- 〔例〕
- ターゲットや難易度に応じたステージ制導入
 - 散走の推進、そのために必要な整備、サービス導入
 - 基幹ルート沿線以外の自治体との連携

- ルート協議会によりエリアの特性や目指したいゴールが異なるため、各ルートの考えを尊重し持続可能な取組を行っていくための見直しが必要。



- 〔例〕
- 地域特性や目指すゴールに応じた整備水準の設定
 - オフロード活用、冬のアクティビティの積極的導入
 - 地域の実情に応じた行政(道路、河川、農業、港湾、空港等)、民間の様々な連携、支援